

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛

笠岡市用之江377

郵便番号714-0066

(0865)

電話 66-1311

FAX 66-1314



瑞雲分教会

昭和15年5月28日

設立

昭和47年11月5日

神殿移転建築奉告祭

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。

つなげよう、信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。



立教186年
7月号

こかん様に続く会 開催

女子青年



支部長様とひのきしんポーズ

笠岡女子青年(岡崎真実委員長)は、6月4日、笠岡大教会でこかん様に続く会を開催、女子青年16人、担当者11人の計27人が参加した。支部長様からのお話では、教祖140年祭に向けての女子青年としての心構えについて聞かせていただきました。その中で、何事も自分の心次第で見え方が変わってくると教えていただき、自分のできないことばかりに目を向けるのではなく、少しでもできることに目



支部長様のお話振り返り

を向けるようにすれば、どんなことでも喜べるようになるかと教えてくださいました。また、お道の教えについて、「親が信仰しているから信じる」ではなく、自分の目で見てしっかり考え、柔軟な心で受け取ることが大切だとも教えていただきました。お話の後には振り返りを行い、率直な感想を話しながら、自分たちの心のつかい方を見つめなおすことができました。また、昼食は手巻き寿司パーティーをさせていただき、担当の奥様方が作って下さったスイーツもいただいて、とても楽しい時間を過ごすことができました。今回もたくさんの方が参加してくださ



ビーチボールドッジで盛り上がる



ニュースポーツのラダーゲッター



具材を揃えたら勝ち。すき焼きゲーム

笠岡学生担当委員会(上原繁次委員長)は、6月18日、陶山小体育館で、レクリエーションの日を開催し、10人

レクリエーションの日 開催 学 担

が参加した。この日は、すき焼きゲーム、ラダーゲッター、ビーチボールドッジ、ソフトミニバレーを実施し、楽しいひとときを過ごした。(委員長 上原繁次) 声をかけてくださった方、参加してくださった会員さん、本当にありがとうございました。 (委員長 岡崎真実)



わかぎのつどい 開催

少年会

少年会(森本忠善団長)は、去る6月24日、大教会を会場に「わかぎのつどい」を開催、少年会員11人、育成会員10人が参加しました。

わかぎのつどいは中学生を対象にした行事で、毎回手を変え品を変えて様々な事に取り組んでいます。今回は、毎年4月に行われている「少年会笠岡団おつとめまなび総会」で使用する看板の製作をしました。これまで使用してきた看板の状態も悪くなり、新しく作り直そうという話が出た際に、折角



仲良く看板作成中

なら総会の主役である会員にも携わってもらおうのほどこかということ、この度の行事開催のはこびとなりました。

行事内容は、看板にデザインされた文字へのペンキ塗りでした。カラフルでポップなデザインでしたので、ペンキがはみ出ないように塗るのは難易度が高めで、一画一画真剣に手元を確認しながら作業を進めていました。育成会員の手を借りながら徐々に腕前も上達し、素敵な看板に仕上がりました。来年の総会でのお披露目を皆さん楽しみにしておいて下さい。

また、今回参加してくれた皆が、掲げられた完成看板を見て、製作に携わった喜びを感じ、今後この看板が使い続けられる事に誇りを持っていただければ幸いです。

(少年会委員 岡崎 治 喜)

7月移動例会を 島根分教会で開催

女子青年

笠岡女子青年(岡崎真実委員長)は、7月2日、島根分教会で移動例会を開催、女子青年14人、担当者4人の計18

人が参加した。

今回は久しぶりに移動例会を行うことができました。普段はなかなか会えない島根・鳥取の会員さんがたくさん参加してくださり、その中には初めて参加してくださった方もいました。例会の内容としては、「まあある心」についての短いお話を読ませていただき、みんなでお話の感想を話し合いました。話し合う中で、何でも喜べる心のつかい方はなかなかできないけれど、できるだけ前向きな考え方で物事を見ようとする姿勢が大切だと感じました。話し合いの後には、自己紹介を含めたレクリエーションを行い、初めの方とも親睦を深めることができました。



夏の日差しにも負けない笑顔輝く女子青年

した。ゲームの後には、島根分教会の奥様が準備をくださった流しそうめんやオードブルをいただき、担当の奥様が作ってくださったスイーツもいただいで、みんな大満足でした。食事の後には海にも連れて行っていただき、島根のきれいな海で夏の訪れを感じながら、みんなで楽しく過ごすことができました。今回は初めての方も参加してくださり、いつも以上に充実した例会にすることができました。担当の奥様方、声をかけてくださった方、参加してくださった会員さん、私たちを温かく迎えてくださった島根分教会の方々、本当にありがとうございます。(委員長 岡崎 真実)



おいしいごはんで大満足!

笠岡の道編纂委員会 史跡訪問 実施

史料部

東大教会を訪問して

前笠岡大教会史料部長

上原 繁 道

東大教会の訪問取材を終えて6月29日夜10時半過ぎに笠岡に到着、遅い夕食を頂き11時過ぎバタンと寝についた。30日、朝5時半からの神殿掃除に何とか顔を出して朝勤め、朝食。さて、と思って、「らんまん」の「愛を愛を」を聴いていたら寝てしまった。今日7月1日、パソコンに向かっている。部内教会史取材の時の、教会に行つては帰つてきて、原稿用紙に、聴いてきた歴史を書いて居たのを思い出す。まるで鵜舟の鵜みたいに、大教会に帰つてはサラサラと書いて、また次の教会に向いて鮎ならぬ教会の歴史を飲み込んで帰ってくる、そして原稿用紙、当部内教会17カ所、頭が変になりそうだった。今回は1日おいて、ボールペんに替わってパソコンのキイを叩いている。

東は僕は2回目で、4年ほど前、その時は東悠の会長と一緒に本当にブラ

リと訪わせて頂いた。今回は事前に連絡させて頂き、大教会長も加わって頂いての訪問だった。

4方を道路で囲まれた敷地、そこに建築された神殿、教職舎、あちこち案内頂き大教会長様始め史料部員の方々と2時間半ばかり別室で種々意見交換して頂いた。

明治16年秋の頃、上原家に後の初代真柱様、本席様、随員の先生方が数日に亘つてお越しになった。上原家は既に長堀の本店、佐吉夫妻の心齋橋筋の隠居所、佐助夫妻の西照庵近くの住居を引き払い、新町の西店に一家が寄り合つていた。佐助氏は備佐の当主として、数日後お越し頂いた御礼におちばに参拝し、そのとき「東京、東京、長崎」のおさしづと共に赤衣を頂戴した。佐助先生はあまりペラペラと話さない。この時も一切家人にも舅の佐吉、妻のさとも話さない。従つておさしづ、赤衣については推測である。(この日、東の赤衣を拝観させて頂いた。)佐助氏はおちばから帰つて来て上原家の窮迫の状況を改めて目の辺りにして、密かに東京行きを決心していたと思われる。

年が明けて明治17年6・7月大阪は

大洪水に見舞われる。橋という橋は全部崩落、大阪の街ほとんどが浸水被害に遭つた。百年に一度という洪水だった。佐吉八重夫妻、笠原イシ、長女・光(佐助さとの長女 戸籍上、佐吉の養女)は既に笠岡へ帰っていたが、佐助、さと、また使用人の椿卯之助、大久保鉄吉、雪はじめ、さとの子供達は天王寺の二軒茶屋付近に家を借りて西店から移住していた。水が引いて8月、佐助氏は椿を連れて着の身着のまま、赤衣を奉戴して東京へ旅立った。東京行きの船賃が足りないという事で、さとはなけなしの生活費から幾分かを佐助に渡した。佐助、さとの其の後の筆舌に尽くし難い東京、大阪での苦労はここに書かない。

明治20年陰曆正月26日の教祖現身お隠しの時、佐助氏は2・3日して東京で、さととは笠岡で、同じく2・3日して悲報に接している。翌21年、教祖1年祭には2人とも、東京眞明組、備中眞明組の講元としておちばに帰参している。

明治24年、教祖5年祭の直後、本席様が東にお入り込み、東の土地に「せい水のさづけ」を下された。これにより、東の道は急激に進展した。せい水

のさづけの取次は東の大教会長のみ、口伝で取次方は現在に伝わっている。

今回の訪問は、既に発行済みの大教会史の確認で、本来なら、教会史執筆前に来させて頂くのが本当であるが、当時の笠岡の史料部は手薄で、私も種々大教会事務を兼務していたので果たせなかった。それを大教会長に御願いして今回実現したもので、改めて新しい事柄や史料を集成するのが目的ではなかった。一つには私よりも、今後大教会に関わつてゆく次世代の方々に同行して頂いた事が大きな成果であった。

東大教会は先年、平成20年9月代替わりされ、上原家から柴田家へと法灯が受け継がれた。私達にとつては、そういう意味では千載一遇の機会だったとも言える。

2点、写真説明を兼ねて掲載させて頂く。1つは東大教会の神殿玄関階段の横に掲げてある「誌」の文面、もう1つは御井戸の傍に掲げてある「御井戸の由来」の文面。帰つて来て改めて「おさしづで辿るあづまの道」(立教173年発行)を読んで、訪問取材とはいえ、意見交換の内容は書けない、書かないほうがよいと思った。ただ今述べ

た2点だけは写真と共に掲載させて頂く。

私は6月25日、笠岡号でおちばへ出て、27日に大教会からの車が天理に寄ってくれたので名阪国道、東名阪伊勢湾岸道路、そして新東名と辿り、6時頃予約していた宿舎に到着した。帰りは同じコースを笠岡まで辿った。

帰って来て境内地を散策した。所々に群生する藪萱草の柿色の花が満開、栗の実もいつのまにかかなり大きくなって、また今年は10年前に植えたくなるみが、草刈り機の難を免れてかなり大きく育ち実をつけている。いつも思う。いろいろな大教会で神殿から緑豊かな里山が見えるのは、笠岡ぐらいいろうな。先人の苦心、努力の賜のこの笠岡の道、また建物。大切に、古い歴史と共に、次代に確実に渡していきたい。初代は時々話していたような。「温ネ 故キヲ 知ル 新シキヲ。」

誌

ここ 元の東京市下谷区北稲荷町四十二番地は明治二十一年四月十日「天理教会」がはじめて公認創設せられた処である。右の教会は同年七月理のあるちばへ引き移り「教会本部」となり

あとに「本部出張所」が置かれたが明治二十二年十月十四日教会創設の土台となった「東京真明組」(講元上原佐助大人)が出張所を引き直して「東分教会所」設立の理のお許しを頂き上原佐助大人が初代会長に任命され代を重ねて今日に至っている。明治二十四年四月五日当時の「東分教会所」へお入り込み下された本席様よりこの処に「せい水のさづけ」を下された。おちば以外の場所ではなく土地処に「おさづけの理」を下されたのは稀有のことであった。右二つの史実を二代

会長上原義彦大人の遺志により後世に伝えるためこれを誌す

昭和五十五年四月十日

天理教東大教会

御井戸の由来

この御井戸は、明治二十二年(一八八九年)八月二十七日、初代会長上原佐助先生が、本席様を通して神意を伺い、お許しを得て、東分教会所当時の神殿玄関に向かつて左脇に掘られたものである。明治二十四年(一八九一年)四月五日、当教会へお入り込み下され

た本席様から、この土地に「せい水のさづけ」がさづけられた。以後、歴代会長は「せい水のさづけ」の取次に、この井戸水を使用し今日に至っている。大正十二年(一九二三年)九月、関東大震災により教会が焼失。昭和六年(一九三一年)、復興建築の折、御井戸は現在のように神殿上段の床下に保存され、使用されることとなった。

平成三年(一九九一年)せい水のさづけ拝戴百年を記念して

天理教東大教会

(扁額は両方とも松村吉太郎先生)



教会本部創設の地に立つ東大教会



丁寧な解説に耳を傾ける



東大教会長様をはじめ史料掛の先生方と

大教会だより

◎第九八二期修養科

自 立教186年4月1日
至 立教186年6月27日

***教 養 掛**(㊦主任、㊧副主任)

一ヶ月目 ㊦ 武 内 正 美
(大教会役員)

高屋分教会長

㊧ 高 橋 徳 行
(亀田山分教会長)

二ヶ月目 ㊦ 杉 原 善 朗
(大教会准役員)

明石市分教会長

㊧ 渡 邊 泰 造
(品治分教会長)

三ヶ月目 ㊦ 山 野 弘 実
(大教会役員)

上下分教会長

㊧ 藤 本 芳 久
(東水島分教会長)

***修 了 者**

福 山 田 中 真 実

海松ヶ岡 森 本 一 平

高 屋 武 内 菜 緒

福富士 坂 田 浩 子

福 東 藤 井 あ かり
上 小 島 田 村 栞 理



棚から牡丹餅

テレビのクイズ番組の中で、この「ことわざ」の意味を答える問題があった。出演者からいろいろな答えがあった。申し訳けないことだが、飲酒しながらのことで、答えの内容は覚えていない。

棚から落ちてきた牡丹餅が、ちょうど開いていた口に収まることから、思

いがけない幸運が舞い込むことーらしい(西東社『使える語彙力』)。この「ことわざ」を聞くと、今は亡き教友の言葉を思い出す。彼は信仰はもとより、商売でも手腕を発揮し成功した。特に、おつくしには厳しかった。

「そりゃー、棚の上へ牡丹餅を置いとくけー、何かあった時、牡丹餅が落ちてくるんじやー。置いとかんかったら、ネズミの糞か埃が落ちてくるんが関の山じやー」

これは、あくまで彼流の解釈ではあるが、一理あると思う。「ことわざ」と一緒にすることはどうかと思うが、私たちが神様から頂くご守護もそうではなかるうか？

思いがけなく、舞い込んでくることはないと思う。日々の理づくり、ふせ込み、おつくしなど、その方法は千差万別だが、ご守護のもとをしっかりとつくって、棚の上に置いておくから、いざという時、ご守護という大餅になつてくるのだと思う。

教祖140年祭に向けての三年千日活動1年目の本年も、早や半ばを過ぎたが、まだまだ活動日は残っている。小さな餅でもいいので、沢山、棚の上に置いておこうと思う。(る)

📁 詰所からのお願い

詰所での宿泊・喫食について

- ・詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、**2日前までには、必ず詰所**へご連絡ください。
- ・**食事をしない(宿泊のみの)場合**でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。

部内教会・信者に徹底願います。

KASAOKA ENGLISH CAMP



倉敷の街を観光しながら英語を楽しもう♪
オーストラリアからのゲストも参加!

8月8日 (火)
9:00~16:00



-対象-
小学校4年生以上

-会費-
500円

-申込締切-
8月3日 (木)

大人の方もぜひぜひ
ご参加ください!

☆お問い合わせ☆

笠岡大教会 海外部 上原志郎 TEL: 66-1311